

京都府生協連ニュース

＜第56回通常総会特集＞

2009年8月1日・No.75(通算141号)

京都府生活協同組合連合会

京都市中京区烏丸夷川東南角せいきょう会館2階

TEL. 075-251-1551

FAX. 075-251-1555

第56回通常総会開催

～全議案を可決・承認、総会アピールを採択～



6月30日（火）、池坊学園洗心館6階で開催しました。

＜お二人の来賓からご祝辞をいただきました＞



開会のあいさつをのべる
小林智子会長理事



京都府山田啓二知事代理
京都府府民生活部副部長 小林裕明さん



京都労働者福祉協議会会長
木村幹雄さん

京都府生協連第56回通常総会報告

6月30日（火）午後1時30分より、池坊学園洗心館6階第1会議室で「京都府生活協同組合連合会 第56回通常総会」を開催しました。

今総会の代議員総数は41人で、当日の出席は本人出席35人、委任出席2人、書面出席3人でした。

来賓および理事・監事・オブザーバーあわせて、90人の参加となりました。

小林智子会長理事が開会のあいさつをのべ、つづいてご来賓の京都府府民生活部副部長 小林裕明さん（京都府山田啓二知事代理）、京都労働者福祉協議会会長 木村幹雄さんから、ご祝辞をいただきました。

オブザーバーとして、日本生協連関西地連事務局金子隆之さんはじめ、7人の方にご参加いただきました。他団体、各生協などからいただいた77通の祝電・メッセージをご紹介します。

小峰耕二専務理事が、3号議案をのぞく第1～第6号までの議案を一括提案し、末廣監事が監査報告をおこないました。10人の代議員から発言がありました。

さいごに、総会アピール「激しく急速に変化する時代だからこそ、生協の理念・協同組合の定義・価値・原則を大切にして組合員・地域の願いにこたえましょう！」を採択しました。



議長 平 信行さん
(大学生協京都事業連合)



議案の提案をする小峰耕二専務理事



監査報告をする
末廣恭雄監事

＜祝電・メッセージをお寄せいただいた方がた＞ (順不同・敬称略)

自由民主党衆議院議員	いざわ 京子	日本共産党衆議院議員	穀田 恵二
自由民主党衆議院議員	清水 鴻一郎	日本共産党参議院議員	井上 さとし
自由民主党衆議院議員	中川 泰宏	京都市長	門川 大作
自由民主党衆議院議員	山本 ともひろ	京都府議会議長	林田 洋
民主党衆議院議員	泉 ケンタ	京都府社会福祉協議会会長	立石 義雄
民主党衆議院議員	北神 けいろう	京都市社会福祉協議会会長	原 健
民主党衆議院議員	前原 誠司	京都商工会議所会頭	立石 義雄
民主党衆議院議員	山井 和則	J A京都中央会会長	中川 泰宏
民主党参議院議員	福山 哲郎	京都府漁業協同組合連合会代表理事会会長	佐々木新一郎
民主党参議院議員	松井 孝治		

■全議案が可決・承認されました

議案	賛成	反対	保留	合計
第1号議案 2008年度活動報告・決算関係書類等承認の件 (監査報告を含む)	39	0	0	39
第2号議案 2009年度 活動方針・活動計画および予算決定の件	38	0	1	39
第3号議案 役員選任の件	38	0	1	39
第4号議案 2009年度役員報酬限度額決定の件	38	0	1	39
第5号議案 総会運営規約の一部変更の件	39	0	0	39
第6号議案 議案決議効力発生の件	39	0	0	39

※出席代議員の合計40人(本人出席35 委任出席2 書面出席3)、うち議長1人は採決に参加せず。

【京都府生協連2009年度役員体制】(6月30日現在) *は今回、新任

- | | |
|---|---|
| <p><会長理事> 小林 智子(員外)</p> <p><副会長理事> 中森 一郎(京都大学生協専務理事)</p> <p><専務理事> 小峰 耕二(員外)</p> <p><常任理事> 今西 静生(京都府庁生協専務理事)</p> <p>沼澤 明夫(大学生協京都事業連合専務理事)</p> <p>村田 二三男(京都生協常務理事)*</p> <p>廣瀬 佳代(員外)</p> | <p><理事> 小野 留美子(乙訓医療生協専務理事)</p> <p>金谷 薫(全京都勤労者共済生協専務理事)</p> <p>佐々木 郁子(生協生活クラブ京都エル・コープ理事長)</p> <p>田中 弘(京都医療生協専務理事)</p> <p>羽賀 省二(京都教育大生協専務理事)*</p> <p>毛利 雅彦(同志社生協専務理事)*</p> <p>行松 龍美(やましろ健康医療生協専務理事)</p> <p>右近 裕子(員外)</p> <p>高田 艶子(員外)</p> |
| | <p><監事> 笠谷 敏子(京都生協理事)*</p> <p>酒井 克彦(立命館生協専務理事・池坊学園生協専務理事)*</p> |

【理事・監事を退任されたみなさん】(順不同)

<理事>

栗飯原利弘さん・大塚正文さん・
笠谷敏子さん・酒井克彦さん

<監事>

末廣恭雄さん・眞柄征市さん・羽
賀省二さん



役員退任のあいさつをされる、大塚正文さん、栗飯原利弘さん、末廣恭雄さん(左から)

■ 10人の代議員から発言がありました

当日は、10人の代議員から、それぞれの生協の活動報告、医療にかかわる問題、地産地消や食育にかかわる取り組みについての報告がありました。これらの発言をふまえ、小峰専務理事は「府連総会は、それぞれの生協の大切な交流の場でもあると考えている。この意味でも、各代議員から貴重な発言をいただいた。社会や生協の経営もたいへんな時期ではあるが、組合員と職員の協力で、主体的な改革をすすめていきたい。府連として、学習と交流を重視して取り組んでいきたい」とのまとめをおこないました。

【総会発言の要旨】

1 生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ 細谷みつ子 代議員 「2008年度活動報告」



次世代のために食料自給率をアップしよう、協同する地域社会をつくろうと取り組んでいます。組合員から組合員へ消費財のよさを伝える取り組みとして、試食会をおこない、多くの参加がありました。

しかし、一方でものづくりの現場を組合員に伝えること、OCR用紙に1と記入することでどういうことを伝えられるか、そのむずかしさを感じています。

「情報誌の全員購読」や、「エコロ共済（おたがいさまとしての共済。全員加入型の共済活動）」の取り組

みを通じ、事業と運動を結合してすすめていくことのむずかしさも実感しています。

私は、生協の活動にかかわってきたことを、よかったと実感しています。

とくに、遺伝子組み換えの問題ですが、全体のごくわずかしこ組み換えでないものがない現実があります。しかし、あきらめることなく、前むきに取り組んでいこうと考えています。

きびしい情勢ですが、31万人の生活クラブ生協組合員と京都での生協の仲間にも勇気づけられています。これだけの仲間がいるなかで、不可能なことなどありません。

こんごとも、がんばっていききたいと思います。

2. 生活協同組合コープ自然派京都 坂本真有美 代議員 「2008年度活動報告と2009年度の取り組み」



先日、第2回目の総代会を開催しました。供給高は昨年比では大幅な伸長でしたが、去年は事業開始から半年間だけの取り組みでした。一人あたり供給高は、伸長しています。

しかし、配送の改善やホームページの内容強化が、課題として残っています。

KBS 収穫祭を秋と春に実施しました。「農こそストーリー（農を変えたい！全国運動関西地域ネットワーク主催）」に参加するなど、多くの生産者と知り合うことができました。コープ自然派で取り組んでいる「田んぼ生きもの調査」のために、昨

年度は、山あいの田んぼをかり、田植えをすることができました。その他、映画“田んぼ”の上映会や、六ヶ所村核燃料再処理工場本格稼働反対にも取り組みました。ひきつづき、組合員活動では、環境活動などを活発にすすめていきたいと考えています。

今年度、コープ自然派は、チャレンジ200「すべては組合員のために」の実現にむけ、事業連合全体で目標をたてて取り組みます。「はじめてBOX（新規組合員を対象）」の取り組みを開始し、情報公開につとめます。

昨年に田植えをした田んぼでは、「生きもの調査」も実施していきます。農作業体験、食育、遺伝子組み換え食品などの学習会を通じて、生協という組織のよさを広げていきたいと思っています。

3. 京都橘学園生活協同組合 東川絹子 代議員

「100円朝食の取り組み」



取り組みをはじめたきっかけは、学生が朝食を食べない、食べても朝食の内容が貧しいということでした。よい食生活のお手伝いと、コミュニケーションの場という思いで、100円朝食を開始しました。

こだわりの食材を使ったメニューで、伝統的な和風の食事を提供しました。地元山科の野菜、学内でつけた梅干し、お米は特Aのものといった内容です。

大学生は、近未来のパパとママなので、次世代へ引き継がれる食事が必要です。そのためにも、毎日替えて和風のメニューを出しています。

この取り組みは、マスコミが好意的にとらえてくれ、大学からも喜ばれ、自宅生説明会でも歓迎されました。徹夜でバイトしている学生からは、「朝食があつてよかった」という声があがりました。

1回生が朝食の場で待ち合わせ、情報交換をするなどにも役立っています。

1日平均の利用数は80食ですが、その75%が男性（教員・職員）の利用です。

原価は180円かかっています。1食あたり80円の赤字ですが、生協が事業全体では黒字経営となっていることでカバーしています。

こんご、農林水産省で、お米を無料で援助してくれるなどの協力があれば100円朝食の取り組みがもっとすすむのではないかと考えています。

4. 京都府立医科大学・府立大学生生活協同組合 松波貴哉 代議員

「病院購買部 店舗の現状」



現在、病院内の生協購買店舗で働いています。

病院内という特殊な条件のため、おもな利用者は、外来で診察に来られた方や、入院患者さんです。残念ながら、少しずつ利用者が減ってきていますが、患者さんにとっても大切なお店

なので、なんとか守っていきたくと考えています。何か新しい商品を提供しようと、米粉パン、丹後の

生産者との提携での府内産品、美山の牛乳・プリンなど、独自に企画した商品を提供しています。

大学事業連合からのメニューにもとづく発注が基本ですが、品揃えや発注単位など、京都府立医科大学とは合わない面もあります。地域生協などとも協力ができればいいなあと考えています。

七夕で大きな笹をたてて、患者さんなどに短冊を書いてもらったりしています。

病院内の生協の役割として、患者さんたちの生活向上に役立てればと思って働いているところです。

5. 京都医療生活協同組合 清水武彦 代議員

「信頼される眼科をめざし、予算達成」



医療事業の特性として、(患者として) 来たるものを拒むことができない事業ですが、改正生協法のもとで員外利用は事業高の50%が上限となりました。

理事長先頭に患者さんに組合員になってもらう活動をおこなっています。

まず、直接患者さんに接触する職員に危機感をもつていただき、組合員については総代会で情報提供をし、組合員拡大に協力していただくこととしました。

そのためにも、患者さんに高い質の医療を提供し信頼していただくことが重要で、そのうえでご理解をいただき、組合員になってもらっています。京都生協と混同される人も多くあります。

いま医療改革が叫ばれるなかで、株式会社化ということもいわれ、異業種からの医療分野への資本参加がはじまっています。採算の合わない医療は切り捨てられていくことも考えられます。

こうしたことをなくしていくために、医療生協が、医療者と患者さんの共同参画を大切にし、取り組んでいきたいと考えています。

6. 乙訓医療生活協同組合 中尾史香 代議員

「医療生協を再発見。サークルを軸につながる組合員」



06年からサークル活動を開始しました。医療生協の組合員の交流の場として、また地域の方とのふれあいの場として位置づけて、サークルをつくりました。

昨年は、事業とサークルとを結びつけていく必要があるとの視点から、「サークルまつり」を

開催しました。

サークル活動の紹介や、うたごえサークルの演奏、

おたのしみ抽選会もおこない、多くの方に参加いただきました。

この取り組みをとおして、たくさんの組合員の交流がすすみました。あまり費用をかけないで組合員どうしが交流したいという要求や、骨密度測定をしてほしいなどの要求も出ました。

また、自分たちのやっているサークル活動の紹介で、お互いが元気になりました。

サークル活動や、班活動が大事ということ、あらためて確認しました。

7. やましる健康医療生活協同組合 佐藤京子 代議員

「医療をめぐる現状とやましるの取り組みについて」



日本の医療が崩壊してきています。国保の2割が滞納となるなかで、国は医療機関にたいしては、医療報酬単価を切り下げています。その結果、医師や看護師の人数不足、救急患者の対応ができないという事態も生じています。全国で300近くの病院や医院が倒産しています。患者さんにたいしては、

窓口負担増の方向です。

2002年から2011年まで毎年2200億円の

医療予算が削減され、2011年までの合計で13兆円の削減となってしまいます。さすがに与党も意見が割れてきています。

徒然草にも、人間が生きていくには衣食住と医療が必要だと書いてあります。この4つが満たされないと貧であるかとあります。

だからこそ、健康を守る、命を守るのが私たちの取り組みと考えています。世論の力で、社会の力関係を変えていかないとはいけません。

やましる健康医療生協は、エリアの駅頭で毎月宣伝活動をしています。

8. 京都府庁生活協同組合 小山敏子 代議員

「府庁生協での地産地消の取り組みについて」



経営状況がきびしいなかで、生協としても、現状のまま、坐しているわけにはいきません。府庁生協では、いま、地産地消の取り組みをつよめています。

地元でとれたものを地元で消費するため、新鮮な野菜を使ったメニューを提供し、生産地の

表示もおこなっています。

NHK朝の連続テレビ小説にちなんだ「だんだん定

食の提供（京野菜としじみ）」の取り組みも、行政の支援をうけておこないません。

これは、整理券を発行して提供するほどの盛況となりました。

マスコミの取材があったり、山田知事も府庁生協の食堂に食べに来られるなど、人気の高い取り組みとなりました。

現在、庁内放送やポスター、チラシの配布などもおこない、こうした地産地消の府庁生協の宣伝にもつとめています。

9. 京都生活協同組合 二場邦彦 代議員 「京都生協の活動について」



6月9日、第45回総代会を開催し、無事終了しました。ギョーザ問題など大きな案件があった1年でしたが、誠実な対応を積み上げた結果もあり、この数年間では、もっとも多い賛成で全議案を可決しました。

総代である組合員の思いと、理事会の思いを一体化する努力のなかで、新しい理事長として私が選任されました。

経済危機の影響で組合員の苦しい暮らしがあり、中期的にみると剰余確保がむずかしい状況です。だから

こそ協同組合の原点にもう一度もどることが大切です。

また、これまでの協同組合の活動にとらわれず、大胆なイノベーションが必要です。組合員の生活でちょっと困ったことへの対応、福祉活動や地域とのつながりなど、他の生協や団体と協力しながらすすめていきたいと思います。

これまで、生協は「安心・安全」をいってきました。しかし、地域の暮らしが「安定して、持続していく」ということが大切で、こうした取り組みが十分ではなかったと思います。

こういった視点での、府連の指導的役割を期待しています。

10. 京都生活協同組合 有地淑羽 代議員 (京都府生活協同組合連合会・ピースフォーラム「平和活動推進委員会」委員長) 「NPT再検討会議へ国際世論を高めよう」



ヒロシマ・ナガサキから64年たちました。核兵器をなくせの運動がおこなわれていますが、いまだ実現されていない状況です。世界には、2万1000発の核兵器が存在しています。

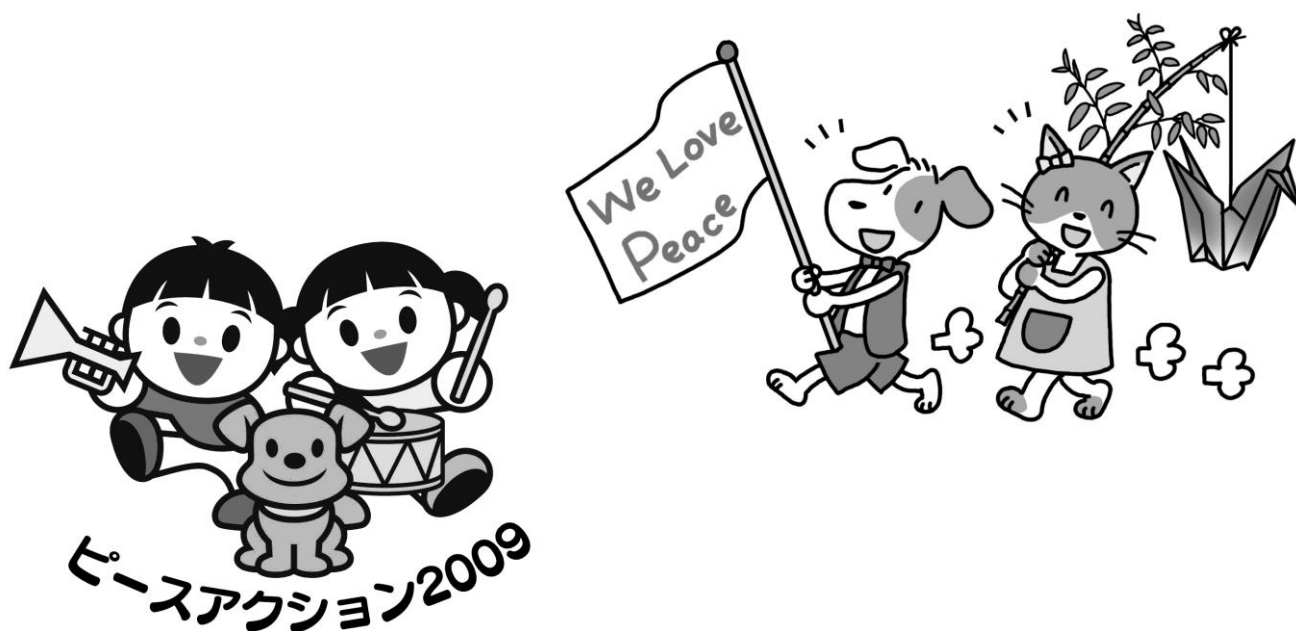
そのようななか、唯一の核廃絶をテーマとする条約が、NPT(核不拡散)条約です。

平和市長会議は2020年までに核兵器廃絶の実現

をめざす「2020ビジョン」キャンペーンに取り組んでいます。平和市長会議には、134国2870市が参加し、京都市なども参加を表明しています。

今年はいわば、節目の年です。2007年からアメリカの4人の高官が「核のない社会を」と訴えています。2009年4月5日、このほど米大統領に就任したオバマ氏も核廃絶にむけての発言をおこないました。日生協では、NPTに代表派遣することを決定しました。

いまこそ、世論を盛り上げていきましょう。



■総会アピールが採択されました

総会アピールは、沼澤明夫常任理事が提案し、拍手で確認しました。



京都府生活協同組合連合会第56回通常総会アピール

激しく急速に変化する時代だからこそ、 生協の理念・協同組合の定義・価値・原則を大切に組合員・地域の願いにこたえましょう！

2008年の世相をあらわす漢字が「変」であったように、いま私たちの暮らしをめぐる状況に大きく激しい変化が生じています。

昨年の前半は原油・穀物などの価格高騰により、食料品・燃料などの必需品の値上げラッシュで、消費者・農漁業者・中小自営業者の暮らしと営業に困難が重なりました。後半はアメリカ発の金融危機を契機に、世界をまきこむ同時不況に突入し、自動車産業はじめ輸出に過度に依存してきた日本経済は景気持続基調から一転、「戦後最悪・最大の経済危機」といわれる局面に入りました。

これまで「構造改革」の名のもとに、雇用制度や医療・年金・福祉の全面にわたる社会保障制度の改悪がすすめられてきたなかでの景気後退は、国民生活にきわめて厳しく深刻な状態をもたらしています。ワーキングプアと失業が大量に発生し、「格差と貧困」問題はますます重大化して、多くの国民の生存したいを脅かす事態が進行しています。

このようななか、一方で、弱肉強食の市場競争をつうじて豊かさを獲得しようとするのではなく、人間と地球環境・地域社会の「共生」をもとめ、利益追求を至上目的としない実践がいろいろな分野に広がっています。生活協同組合も、そのような社会的経済生みだす社会的な矛盾・ゆがみ・

ひずみにたいし、みずからの力で新しい未来をつくりだそうという理念をもって誕生・成長してきました。

生協は今日、全国で2400万人の組合員が参加する日本最大の消費者組織として成長・発展しています。一人ひとりが平和で幸せな生活を築くことのできる社会の実現のために、生協がはたしてきている役割は大きなものがあります。消費者運動と世論の高まりのなかで、このたび、消費者行政を一元化するための法律・組織の整備・充実にむけて、あらたな一歩がふみだされました。食の安全・安心の課題をはじめ、医療や社会保障、環境などの分野においても、消費者権利が十分に確保されなければなりません。

本日、京都府生活協同組合連合会は第56回総会を開催し、京都における生協への加入組合員数が66万9500人を数え、地域・学園・職域・医療・共済などの多くの分野で、旺盛な事業と活動をすすめていることをたしかめあいました。

世界中の国ぐにが国境を越えて激しく急速に変化していく時代だからこそ、私たちは生協の理念・協同組合の定義・価値・原則を大切に事業・活動・組織運営をすすめ、組合員の願いにこたえていかなければなりません。また、地域社会の一員として、さまざまな団体・個人との連帯の輪を広げる取組みをつよめ、「人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現」にむけて、組合員・役職員がともに生協組織がそなえている力を発揮していこうではありませんか。

2009年6月30日
京都府生活協同組合連合会